

【AMED ロボット介護機器開発等推進事業】
最新のロボット介護技術が集結！令和6年度成果報告会開催！
～3月11日(火)13時より丸の内～

[介護ロボットポータルサイト事務局](#)

AMED ロボット介護機器開発等推進事業 令和6年度成果報告会

参加費無料

= 対面・WEB同時開催 =

日時：2025年3月11日（火）13:00～16:00（12:15開場）

会場：三菱ビル10F 丸の内ホール&コンファレンス コンファレンススクエアエムプラス グランド

最寄駅：JR東京駅（丸の内南口）徒歩約2分 / 東京メトロ丸の内線東京駅（地下直結）徒歩約5分

基調講演

「利用者、職員に選ばれる介護テクノロジーとは ～生産性向上に資するテクノロジー活用の現場から～」

登壇者：鈴木 健太氏（社会福祉法人友愛十字会 法人本部事務局 介護生産性向上推進室長 特別養護老人ホーム 友愛荘 施設長）

～介護テクノロジーは現場にどのような視点で選ばれるのか、また現場で求められる介護テクノロジーとは何かについてご講演いただきます～



成果発表事業者(全11社)

開発補助

- マッスル株式会社
- TANOTECH株式会社
- ゲオム株式会社
- 東レ株式会社
- コニカミルタ株式会社※
- 株式会社善光総合研究所

※コニカミルタ株式会社のみ開発補助+海外展開

海外展開

- 株式会社FUJI
- CYBERDYNE株式会社
- DFree株式会社

環境整備

- 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- PwCコンサルティング合同会社



お申込みはこちら

ロボット介護機器普及啓発のための環境整備・エコシステム構築プロジェクトセミナー開催事務局

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)から研究委託を受け運営する「ロボット介護機器普及啓発のための環境整備・エコシステム構築プロジェクト(成果報告会開催事務局)」は、2025年3月11日(火)13時より、丸の内ホール&コンファレンス コンファレンススクエアエムプラス及びWeb配信にて、「AMED ロボット介護機器開発等推進事業 令和6年度成果報告会」を同時開催いたします。

本報告会は、AMED「ロボット介護機器開発等推進事業」に採択された11事業者が、本事業における研究の実施状況や成果等を公開することで、技術・サービスの有効性等の理解向上や実用化の促進を図るとともに、ロボット介護機器の成果普及を進める機会といたします。

成果発表は、【開発補助】分野の研究課題より、マッスル(株)/TANOTECH(株)/ゲオム(株)/東レ(株)/コニカミルタ(株)/(株)善光総合研究所、【海外展開】分野の研究課題より、(株)FUJI/CYBERDYNE(株)/Dfree(株)、【環境整備】分野の研究課題より、(国研)産業技術総合研究所/PwCコンサルティング(同)が登壇いたします。

また、社会福祉法人友愛十字会の鈴木健太氏をお招きし、「利用者、職員に選ばれる介護テクノロジーとは ～生産性向上に資するテクノロジー活用の現場から～」と題してご講演いただきます。

報告会の最後に、AMED より公募情報についてご案内いたします。なお、成果報告会終了後は、別室にて AMED による公募相談会も開催いたします（当日会場で先着順に受付）。

当日は会場での開催の様子を Webex でリアルタイム配信を行いますので、会場にお越しいただけない皆様には Webex でもご参加いただけます。

介護テクノロジーの開発や介護現場でのテクノロジー活用に関する最新の動向を知りたい方や、介護ロボットに興味・関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆成果報告会の概要

イベント名	AMED ロボット介護機器開発等推進事業 令和 6 年度成果報告会
開催日時	2025 年 3 月 11 日（火） 13:00～16:00 （12:15 開場、対面・Webex 同時開催）
会場	丸の内ホール&コンファレンス コンファレンススクエアエムプラス グランド https://www.marunouchi-h-c.jp/building/2/conference/
アクセス	東京都千代田区丸の内 2 丁目 5-2 三菱ビル 10F JR 東京駅（丸の内南口）徒歩約 2 分、 東京メトロ丸の内線東京駅（地下直結）徒歩約 5 分
定員	対面参加の場合：先着 80 名 WEB 参加の場合：上限なし
参加費	無料（事前登録制）
お申込み締切	2025 年 3 月 10 日（月） 12:00（正午）まで
詳細・お申込み	介護ロボットポータルサイト https://robotcare.jp/jp/seminar/15?type=d

※対面参加と Webex を活用したウェビナー参加を同時開催いたします。

※ウェビナーでの参加希望の方はお申し込み後、前日までにウェビナーのアドレスを送付いたしますので、お持ちのスマホや PC のブラウザでご視聴下さい。

◆プログラム（予定）

No	プログラム名	時間
1	オープニング 開会挨拶（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）	13:00-

2	<p>開会挨拶 大内 耐義氏（ロボット介護機器開発等推進事業プログラムスーパーバイザー、 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 顧問）</p>	13:03-
3	<p>基調講演 「利用者、職員に選ばれる介護テクノロジーとは ～生産性向上に資するテクノロジー活用の現場から～」 登壇者：鈴木 健太氏（社会福祉法人友愛十字会 法人本部事務局 介護 生産性向上推進室長、特別養護老人ホーム友愛荘 施設長）</p>	13:08-
4	<p>各事業者からの成果発表（発表順は変更になる場合がございます） 【開発補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッスル株式会社： 普及型抱き上げ式ロボット介護機器（移乗介助（非装着型））の研究 開発 ・ TANOTECH 株式会社： リアルサイバースポーツ環境を作るコミュニケーションロボット ・ ゲオム株式会社： 認知症対応型 AI・見守りロボットを実世界へ「介護現場で人間を含むデジ タルツイン」の構築を目指す研究開発 ・ 東レ株式会社： おむつ組み込み型排尿検知センサーを用いた排尿予測システムに関する研 究 ・ コニカミノルタ株式会社※： センシングによる高齢者のアセスメント及びそのデータを活用した状態像の維 持・改善を目指した研究開発 ※開発補助＋海外展開 ・ 株式会社善光総合研究所： 介護における生産性向上および標準化のためのプラットフォーム構築の研究 	13:23-
5	質疑応答	14:05-
6	休憩（コーヒープレイク）	14:30-
7	<p>各事業者からの成果発表（発表順は変更になる場合がございます） 【海外展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 FUJI： 移乗サポートロボット Hug の海外展開を目的とする研究 ・ CYBERDYNE 株式会社： HAL 腰タイプ介護支援に関する研究開発 ・ DFree 株式会社： 米国の在宅介護サービスにおける排泄予測デバイス「DFree」を活用した排 泄支援による介護者の負担軽減効果等の実証 <p>【環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所： ロボット介護機器の安全基準ガイドライン策定に関する研究開発 ・ PwC コンサルティング合同会社： ロボット介護機器普及啓発のための環境整備・エコシステム構築 	14:45-

8	質疑応答	15:20-
9	公募情報のご案内	15:45-
10	クロージング 閉会挨拶（経済産業省）	15:55-

◆開催に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）

医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業（ロボット介護機器開発等推進事業）ロボット介護機器普及啓発のための環境整備・エコシステム構築プロジェクト

成果報告会開催事務局（受託・運営：PwCコンサルティング合同会社）

介護ロボットポータルサイト <https://robotcare.jp/jp/home/index>